

令和5年度

追跡評価結果

令和5年8月

広島県立総合技術研究所

目 次

1 評価対象及び評価基準	
(1) 評価の対象	1
(2) 評価基準	1
2 評価結果	
(1) 評価結果一覧	3
(2) 評価概要	3

1 評価対象及び評価基準

県立総合技術研究所の重点研究課題（開発研究）について、「広島県立総合技術研究所研究課題評価マニュアル（令和5年5月改正）」に基づき追跡評価を実施し、その結果を取りまとめた。

課題解決のアウトプットの目標達成度及び研究課題の企画・実行等の内容について評価し、改善点等を検証し、その結果を総研の事業計画に反映させる。

実施の時期は、課題解決の支援の実施状況等に応じ、事後評価実施年度の翌年度からの3年間のうちに1回行うこととする。

(1) 評価の対象

平成29年度～令和2年度に終了した課題解決研究（一般型） 5課題

(2) 評価方法

課題を実施したセンターにおいて、当初目標と照らし、事後評価以降の課題解決のアウトプットを「達成／未達成」、アウトカム（波及効果）を「有／無」で自己評価するとともに、今後の研究開発・技術支援に反映すべき点等について自己検証を行い、広島県立総合技術研究所の運営会議内で承認する。

2 評価結果

(1) 評価結果一覧

番号	研究課題名	センター名	課題解決の アウトプット※1 (成果移転)	アウトカム※2 (波及効果)
1	凍結含浸食品の生産性を向上する新規酵素利用技術の開発	食品	達成	有
2	熟練検査技能を実現する高精度外観検査技術の開発	西部	未達成	無
3	高発生能卵作出可能な体外成熟技術の開発	畜産	達成	有
4	殻付カキ非破壊品質評価技術の開発	水産	達成	無
5	早生樹種コウヨウザンの効率的な増殖・育成・利用技術の開発	林業	達成	有

《センター名》食品：食品工業技術センター、西部：西部工業技術センター、畜産：畜産技術センター、
水産：水産海洋技術センター、林業：林業技術センター

※1：達成／未達成の中から評価する。 ※2：有／無を評価する。

(2) 評価概要

『熟練検査技能を実現する高精度外観検査技術の開発』では、多数の企業が利用可能な共通技術の開発が見込めないことから、1年間で開発を中止したため、課題解決のアウトプットについては事後評価に引続き、未達成であった。

その他の研究課題では、成果移転の拡大に努めた結果、課題解決のアウトプットの目標を達成した。